

東大病院先端医療シーズ開発フォーラム 2017
～新しい医療制度におけるイノベーションの推進～
開催レポート

平成 29 年 2 月 2 日（木）、東京大学伊藤国際学術研究センターにおいて、東大病院先端医療シーズ開発フォーラム 2017～新しい医療制度におけるイノベーションの推進～を開催いたしました。

東大病院では、先端医療開発研究を目的とした多彩な取り組みが進められています。臨床研究支援センター、トランスレーショナルリサーチ (TR) センター、早期・探索開発推進室、臨床研究ガバナンス部 TR 戦略・推進室がこのような活動を支える基盤として整備されており、22 世紀医療センター、医工連携部、ティッシュ・エンジニアリング (TE) 部、ゲノム医学センターがそれぞれの分野で積極的に活動しています。これらの組織を東大病院先端医療開発部門として位置づけ、フォーラムを通じて部局間の連携を深めるとともに、その多彩な取り組みを社会に広くアピールすることを目的として共同でフォーラムを開催いたしました。東大病院と密接に連携しながら医療機器開発を進めている工学部の「医療福祉工学開発評価センター」、人材育成を実践する「ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム」、東大の橋渡し研究を強力に推進する「東京大学トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ (TR 機構)」、未来の医療を創造するリーダーの育成を目指す「東京大学医療イノベーションイニシアティブ」、社会課題解決に向けた新しい人材の育成を目指す「社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム (GSDM)」、産学連携オープンイノベーション拠点形成である東京大学「自分で守る健康社会」COI 拠点と、多くの組織が共催としてフォーラムに参加しました。

フォーラムの午前の部では、斉藤延人東大病院病院長の開会の挨拶に続いて、「研究者と話せるシーズ見本市」と題して、各部門に所属する講座の研究内容を発表する 42 のポスター発表が行われました。演者による発表の後にフリーディスカッションの時間を十分に設け、ポスターの前では熱い議論が続きました。後半の講演セッションでは、斉藤病院長による東大病院のイノベーション推進の取り組みについての話題提供の後、東京大学大学院工学系研究科の佐久間一郎先生、森和彦厚生労働大臣官房審議官、井本昌克厚生労働省医政局研究開発振興課治験推進室長、岩崎甫山梨大学副学長による特別講演、引き続いてのパネルディスカッションを行い、大学設備と医療現場スタッフのイノベーションへの参加から、学内設備共同利用の在り方、レジストリーへの期待と課題、未来に向けたコンソーシアムの在り方など、アカデミア臨床開発の今後に向けての示唆に富む活発な意見が交わされました。

フォーラムには 275 名が参加されました。本フォーラムが、医療における科学技術の推進、および医薬品・医療機器・医療技術の研究開発、そしてその成果の社会的な受け皿である医療産業の振興に尽力し、新たな医療システムの構築に向け社会に発信するための第一歩となることを希望しています。

東大病院先端医療シーズ開発フォーラム
実行委員会 一同

